

What is Claimed is:

A saddle bag in a two-wheeled motor vehicle, the saddle bag overhanging outwards from each side portion below a seat of the vehicle, characterized in that a belt-like projection is formed sideways at a lower position of the saddle bag so as to extend longitudinally, the belt-like projection having a recess formed in a vertically intermediate position of the belt-like projection which recess extends longitudinally, a belt-like piece is fitted in said recess and is projected still outwards from the belt-like projection, and a projection surface for projecting light outwards is formed on a side face of the saddle bag and at a position above said projection, the projection surface extending substantially flushly with said side face.

⑫実用新案公報 (Y2)

平3-3114

⑪Int. Cl.
B 62 J 9/00識別記号
B 6941-3D

⑪⑪公告 平成3年(1991)1月28日

(全4頁)

⑪考案の名称 自動二輪車のサドルバッグ

⑪実 願 昭61-174727

⑪公 開 昭63-80289

⑪出 願 昭61(1986)11月15日

⑪昭63(1988)5月27日

⑫考案者 中島 泰

埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

⑫考案者 山田 利幸

埼玉県和光市中央1丁目4番1号 株式会社本田技術研究所内

⑪出願人 本田技研工業株式会社

東京都港区南青山2丁目1番1号

⑪代理人 弁理士 江原 望

外1名

審査官 玉城 信一

1

2

⑫実用新案登録請求の範囲

自動二輪車のシート下方の側部に外方へ張出して装着されるサドルバッグにおいて、該サドルバッグの側面下部に該側面から突出して帯状に前後に延びかつ上下方向の中間部分に前後に延びる凹溝を有する凸条部を設け、前記凹溝に嵌着した帯状部片を前記凸条部からさらに外方へ突出させるとともに、該凸条部の上方のサドルバッグ側面に、該側面とほぼ同一面内に延在し光を外方へ投射する投光面を設けたことを特徴とする自動二輪車のサドルバッグ。

考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は、自動二輪車の車体後部の両側に設けられる物入れ用のサドルバッグに関するものである。

従来技術とその問題点

例えば、本出願人の出願に係る実願昭60-154445号には後輪の上半部を側方から覆うようにサイドランクすなわちサドルバッグを装着した自動二輪車が開示されている。前記サドルバッグは、通常、樹脂または金属材料の成形品で構成され、諸種の物品類を収納する物入れとして使用されるが、他方、車体を覆うカバー部材としての役割を有している。従つてこのサドルバッグには、

充分な剛性を備えるとともに、良好な外観を有することが要求される。

問題点を解決するための手段および作用

このため、本考案においては、自動二輪車のシート下方の側部に外方へ張出して装着されるサドルバッグにおいて、該サドルバッグの側面下部に該側面から突出して帯状に前後に延びかつ上下方向の中間部分に前後に延びる凹溝を有する凸条部を設け、前記凹溝に嵌着した帯状部片を前記凸条部からさらに外方へ突出させるとともに、該凸条部の上方のサドルバッグ側面に、該側面とほぼ同一面内に延在し光を外方へ投射する投光面を設けたことを特徴とする自動二輪車のサドルバッグ。

かかる本考案によるサドルバッグは、その側面下部に設けられた凸条部により補強されるので、大きな剛性を有する。また、この凸条部の凹溝に嵌着された帯状部片の外面はサドルバッグの側面より外方に位置するので、該凸条部の上方においてサドルバッグ側面とほぼ同一面内に延在する投光面およびサドルバッグ自体が前記帯状部片により外力から保護される。さらに、サドルバッグの下部を平行に前後に延びる凸条部、帯状部片および投光面により、サドルバッグの外観が著しく向上する。

25 実施例

以下、本考案を図示の実施例により説明する。第1図は本考案によるサドルバッグを備えた自動二輪車の側面図で、上部後寄りに前部シート1aと後部シート1bとから成る2人乗り用のシート1が設けられている。車体の前部上方は前面から両側面へかけてフェアリング2で覆われ、該フェアリング2と前部シート1aとの間の車体部分は、両側をそれぞれサイドシエルタ3で覆われ、上面をトップシエルタ4で覆われている。サイドシエルタ3の後方下部にサイドカバー5の前方上部が接続されており、前部シート1aの下方両側がこのサイドカバー5によって覆われている。そしてサイドカバー5の後方、後部シート1bの下方両側に、該サイドカバー5に接続してサドルバッグ6が配設されている。第2図にこの自動二輪車の後面部が示されているが、同図から分るように、サドルバッグ6は後輪7の左右両側に外方へ張出して設けられており、これら左右のサドルバッグ6、6の間に、後輪7をその直後位置において覆うリヤフェンダ8が配設されている。そしてサドルバッグ6、6およびリヤフェンダ8は、サドルバッグ6、6の後面がリヤフェンダ8の後面に連続するように互いに連結されている。サドルバッグ6、6およびリヤフェンダ8の上部には後部トランク9が装着されており、該トランク9の前部は後部シート1bの背もたれ部10となっている。このようにして、図示の自動二輪車は、上述した各部分により車体上部を全周に亘って覆われ、優美な外観を呈している。

第3図はサドルバッグ6を斜前方から見た斜視図である。サドルバッグ6は樹脂材料を成型加工して形成されており、内外両側面が開口した箱状本体6aと、この本体6aに内側の開口を閉塞して固着された内板6bと、本体6aの外側に着脱自在に取付けられた諸外側の開口を開閉する蓋6cとから成り、前記内板6bを介して車体に取付けられている。第4図に示すように、本体6aの外側下縁部には蓋6cの外側面よりも側方に突出しその下縁に沿って前後に延びる凸条部11が一体に形成されている。この凸条部11の最も外側に張出した部分は平坦面11aとなつており、この平坦面11aの中央部、換言すれば凸条部11の上下方向における中間部分に、該凸条部11に平行に前後に延びる凹溝12が形成されている。

そしてこの凹溝12にゴム等の緩衝材料から成る帯状部片13が嵌着され、該帯状部片13は前記平坦面11aからさらに外方へ突出している。凸条部11および帯状部片13は、第3図および第5図に示すように、本体6aの側面部だけでなく、さらに前面部および後面部まで延長し、本体6aの下部を包囲するように配設されている。蓋6cの下縁部は、この部分に突設された係合片14を本体6a側に設けられた係合溝15に嵌着させて、本体6aに取付けられているが、該下縁部に沿って帯状の凹部16が形成されている。この凹部16は前記凸条部11に平行に蓋6cの側面前部からその後面まで延長し、さらに本体6aの後面に設けられた同様な凹部16aに接続している(第2参照)。そして凹部16が蓋6cの側面部から後面部へ移る角部へ移る角部に表示灯17が嵌着されている。表示灯17は第4図に示すように凹部16の内面に嵌合するハウジング18と、該ハウジング18の開口部を覆うレンズ19とから成り、ランプ20の光がレンズ19を通して外方に投射される。レンズ19の外面は蓋6cの外面とほぼ同一面をなしている。

凹部16の前記表示灯17を嵌着した角部以外の部分には、表示灯17と同様な中空の箱形断面を有する帯状の反射板部片21が嵌着されている。この反射板部片21の側方へ露出する外面は、例えば光を良く反射する着色塗料を塗布した反射面となつておらず、かつ蓋6cおよび表示灯17の外面と同一面内に延在している。蓋6cの凹部16に連続させて本体6aに設けられた前記凹部16aにも同様な反射板部片21aが嵌着されている。反射板部片21、21aの外面は外部からの光を反射させて再び外部へ投射する投光面を形成し、前記表示灯17のレンズ19の外面は内部のランプ20からの光を外部へ投射する投光面を形成する。そしてこれらの投光面は連続してサドルバッグ6の外面を前記凸条部11の上方において側部から後部へかけて包囲するように設けられている。

本実施例のサドルバッグ6は上記のように構成されているので、凸条部11によって補強され大きな剛性を有する。また、側面下部に凸条部11が突出しており、さらにこの凸条部11から帯状

部片 13 が外方に突出しているので、外部の物体が帯状部片 13 により阻止され、その上方に配設された表示灯 17 および反射板部片 21 の外面(投光面)に接触してこれを傷つける恐れがない。その上、帯状部片 13 はゴム等の緩衝材料で形成されているので、サドルバッグ 6 自体に大きな外力が作用することもない。さらに、サドルバッグ 6 の下部を平行に前後に延びる凸条部 11、帯状部片 13 および表示灯 17、反射板部片 21 の外面によって形成される投光面により、サドルバッグ 6 の外観が向上する。

考案の効果

以上の通り、本考案においては、自動二輪車のシート下方の側部に外方へ張出して装着されるサドルバッグにおいて、該サドルバッグの側面下部に該側面から突出して帯状に前後に延びかつ上下方向の中間部分に前後に延びる凹溝を有する凸条部を設け、前記凹溝に嵌着した帯状部片を前記凸条部からさらに外方へ突出させるとともに、該凸条部の上方のサドルバッグ側面に、該側面とほぼ

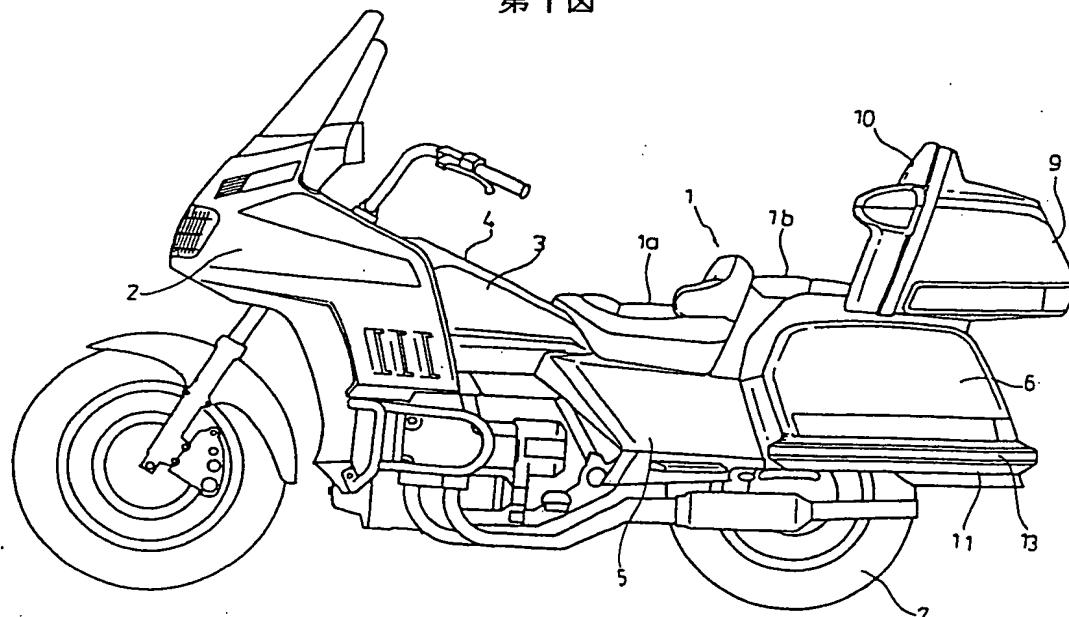
同一面内に延在して光を投射する投光面を設けたので、サドルバッグが凸条部により補強されて、その剛性が高くなる。また、該凸条部および帯状部片により投光面およびサドルバッグ自体が外力 5 から保護され、かつ良好な外観を呈する。

図面の簡単な説明

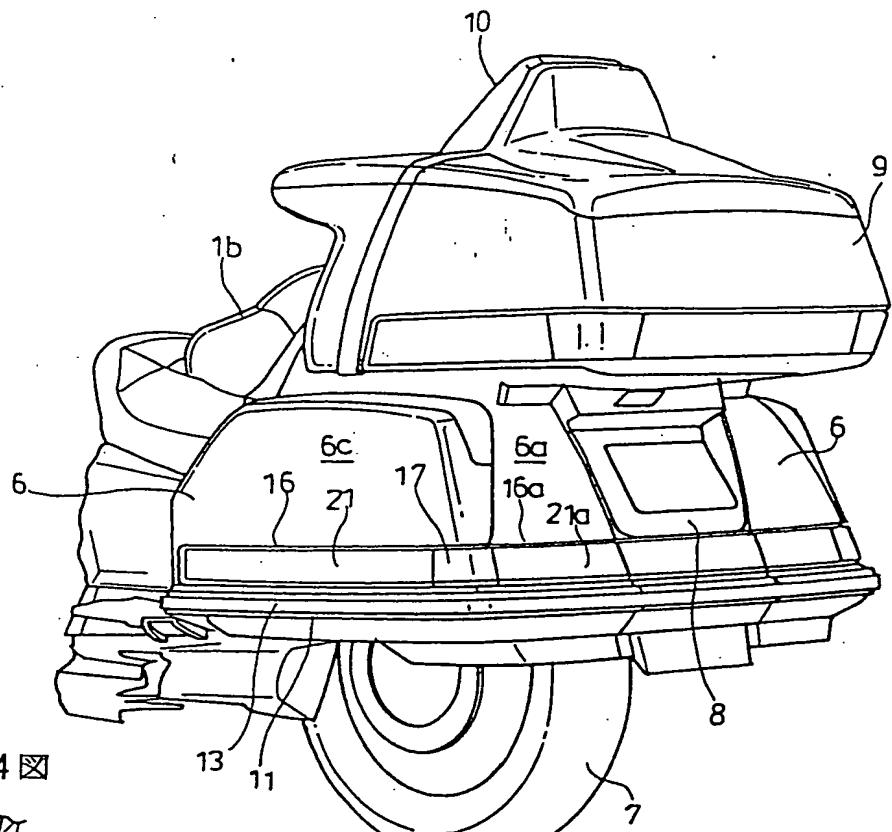
第1図は本考案によるサドルバッグを備えた自動二輪車の全体側面図、第2図は同自動二輪車の後面部を示す斜視図、第3図はサドルバッグを斜 10 前方から見た斜視図、第4図は第3図のIV-IV線に沿う断面図である。

1 ……シート、2 ……フェアリング、3 ……サイドシエルタ、4 ……トップシエルタ、5 ……サイドカバー、6 ……サドルバッグ、7 ……後輪、
15 8 ……リヤエンダ、9 ……後部トランク、10 ……背もたれ部、11 ……凸条部、12 ……凹溝、13 ……帯状部片、14 ……係合片、15 ……係合溝、16 ……凹部、17 ……表示灯、18 ……ハウジング、19 ……レンズ、20 ……ランプ、21 ……反射板部片。

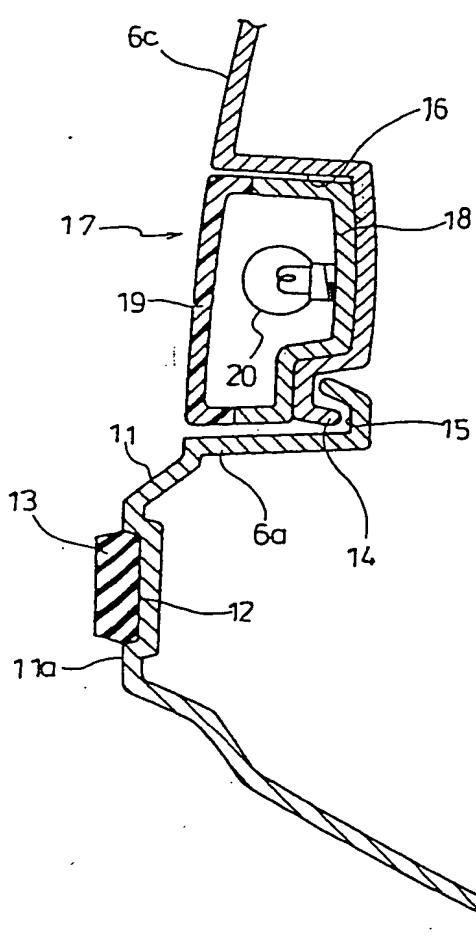
第1図



第2図



第4図



第3図

